事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0137
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　大南　公彦
所属　1460　こども未来部こども総合支援局こどもの育ち支援課　記入者　辻　友紀子
事務事業番号　02388　児童発達支援事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	002　子どもを守る仕組みの充実				
取組の方向性	002　ライフステージに対応した一貫した発達支援				
事務事業	001　児童発達支援事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	大津市立障害者通所施設条例				
事業概要	（事業概要） やまびここども療育センター「やまびこ園」、北部こども療育センター「わくわく教室」、東部こども療育センター「のびのび教室」の３施設で、児童福祉法の規定に基づき、就学前の障害がある、または発達上の課題や困難のある子どもたちに対する早期療育と保護者への支援を実施する。また、指定障害児相談支援事業所として、障害児通所支援事業を利用する障害児及び保護者に対し、「障害児支援利用計画」を作成する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 障害や発達上の課題のある子どもの早期療育と保護者支援に対する期待は高い。増えている医療的ケア児や配慮が必要な児への対応、療育環境の整備など、地域の中核的な療育支援施設としての役割が求められている。 （見直しや改善等の経過） 令和６年度に東部こども療育センターに相談支援事業所を開設し、新たに児童発達支援センターとして療育体制を強化して医療的ケア児や重度心身障害児の受け入れを開始した。また、保育所等訪問支援や居宅訪問型児童発達支援の実施、関係機関等との連携体制の確保など、地域全体の障害児支援体制の強化に向けた取組を進めている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	乳幼児健診等によって、早期の発達支援が必要とされている子どもたちとその家族
目的(何のために)	障害のある子どもたちの発達保障と保護者に対する支援の充実を図る
手段(どのようなやり方で)	通園あるいは訪問等により、早期の療育と保護者への支援を行う
成果(どのような状態にするのか)	発達上の課題について保護者と共に療育することで、子どもの健やかな発達を支援するとともに、保護者の子どもに対する不安を取り除き、積極的に子育てを行うことができるように支援する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	544,643	585,323	630,918	646,230	646,230	646,230	646,230
事業費	57,535	78,867	80,022	91,134	91,134	91,134	91,134
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	400	400	400	400	400	400	400
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	54,398	78,467	72,528	77,472	77,472	77,472	77,472
一般財源	2,737	0	7,094	13,262	13,262	13,262	13,262
人件費計	487,108	506,456	550,896	555,096	555,096	555,096	555,096
事務・技術（人）	33.62	35.30	37.50	39.50	39.50	39.50	39.50
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	3.64	2.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	50.94	48.24	54.34	54.34	54.34	54.34	54.34
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0137
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1460　こども未来部こども総合支援局こどもの育ち支援課
事務事業番号　02388　児童発達支援事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-15-81-00-03-00	児童発達支援事業費	健康福祉部やまびこ総合支援センター
01-15-10-05-28-00-13-00	児童福祉管理事業費（やまびこ療育）	健康福祉部やまびこ総合支援センター
01-15-10-05-82-00-03-00	児童発達支援事業費	健康福祉部やまびこ総合支援センター

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)やまびこ園・わくわく教室・のびのび教室利用児童数	人	170.00	170.00	170.00	170.00	170.00	170.00	170.00
		155.00	179.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)保護者援助活動学習会等の回数	回	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
		71.00	64.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)年間延利用児数	人	16,600.00	16,600.00	16,600.00	16,600.00	16,600.00	16,600.00	16,600.00
		16,693.00	16,545.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)保護者援助活動学習会の参加人数	人	1,950.00	1,950.00	1,950.00	1,950.00	1,950.00	1,950.00	1,950.00
		1,499.00	1,512.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	乳幼児健診による早期発見から早期療育への実施へと連携している			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	通園困難な医療的ケア児や重度障害児に対しても支援提供している			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	医療的ケア児に対し看護師を配置するなど専門職配置に努めている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	療育施設における発達支援の早期対応を行っている			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	障害や発達上の支援を必要とする子どもとその保護者が身近な地域で支援が受けられるよう、日々の療育環境の整備に加え、通園困難な障害児や家族への支援等障害児を預かる施設への助言等、専門的支援の質の向上と機能拡充に努めてきた。また、地域の「発達支援の入口」として子どもや保護者の相談に丁寧に対応し、必要に応じて関係機関との連携や適切な支援につなぐなど、支援体制の充実を目指す。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	子どもの心身の健全な成長のため、障害のある子どもの療育の観点から、家族に対する支援や相談を地域の中で総合的に実施するとともに、児童発達支援センターとしての中核的な役割を果たすように努めていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1460　こども未来部こども総合支援局こどもの育ち支援課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　02388　児童発達支援事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)やまびこ園・わくわく教室・のびのび教室利用児童数	人	170.00 155.00	170.00 179.00	170.00 0.00	170.00 0.00	170.00 0.00	170.00 0.00	170.00 0.00
	指標説明	年度末におけるわくわく教室・やまびこ園・のびのび教室利用児童数（契約者・登録者数）						
(活動)保護者援助活動学習会等の回数	回	60.00 71.00	60.00 64.00	60.00 0.00	60.00 0.00	60.00 0.00	60.00 0.00	60.00 0.00
	指標説明	保護者援助活動として学習会やリフレッシュ講座の開催回数						
(成果)年間延利用児数	人	16,600.00 16,693.00	16,600.00 16,545.00	16,600.00 0.00	16,600.00 0.00	16,600.00 0.00	16,600.00 0.00	16,600.00 0.00
	指標説明	通園・訪問・相談支援利用児の年間延人数						
(成果)保護者援助活動学習会の参加人数	人	1,950.00 1,499.00	1,950.00 1,512.00	1,950.00 0.00	1,950.00 0.00	1,950.00 0.00	1,950.00 0.00	1,950.00 0.00
	指標説明	保護者援助活動の学習会の参加人数						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0138
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　龍田直子
所属　1427　こども未来部こども総合支援局こども発達相談センター　記入者　高橋宏司
事務事業番号　02392　こども発達相談事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	002　子どもを守る仕組みの充実				
取組の方向性	002　ライフステージに対応した一貫した発達支援				
事務事業	002　こども発達相談事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	発達障害者支援法				
事業概要	（事業概要） 発達等に課題をもつ幼児から中学生とその保護者を対象に、専門相談、保護者支援、校園等との連携を行い、子どもの育ちと保護者の子育てを支える。また、市民公開講座や関係職員を対象とした研修を実施し、子どもの発達支援に関する知識の普及を図る。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 子どもを取り巻く環境の変化に伴い、相談内容は複雑多様化している。また、市民の利便性や、関係機関との迅速な連携のために、オンラインでの実施も必要である。 （見直しや改善等の経過） 平成２７年２月のセンター開設以来、年々増加する相談ニーズに対応するため、専門職員の充実を図ってきた。また、オンラインによる相談、カンファレンス、講演会も実施している。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	発達等に課題をもつ、３歳６か月児健診後の幼児から中学生とその保護者、所属校園等を対象に
目的（何のために）	低年齢から学齢期を通じた継続的な相談により、子どもの育ちと保護者の子育てを支えることを目的として
手段（どのようなやり方で）	医師や発達相談員等による専門相談、保健師等による保護者支援、校園等との連携、関係職員を対象とした研修、市民公開講座やホームページを通じた地域への発信等を行うことで
成果（どのような状態にするのか）	保護者および校園等を含む地域全体の、子どもに対する理解が深まり、適切な養育、保育、教育等を通じて、子どもの健全な育成につながる

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	92,240	99,560	104,529	104,065	104,065	104,065	104,065
事業費	7,870	6,852	5,249	4,785	4,785	4,785	4,785
国庫支出金	320	282	291	291	291	291	291
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	7,550	6,570	4,958	4,494	4,494	4,494	4,494
人件費計	84,370	92,708	99,280	99,280	99,280	99,280	99,280
事務・技術（人）	5.55	5.61	5.70	5.70	5.70	5.70	5.70
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	10.27	10.87	12.20	12.20	12.20	12.20	12.20
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0138
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1427　こども未来部こども総合支援局こども発達相談センター
事務事業番号　02392　こども発達相談事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-05-15-00-20-00	こども発達相談事業費	こども未来部こども総合支援局こども発達相談センター

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)相談支援のべ件数	件	7,250.00	7,300.00	7,350.00	7,350.00	7,350.00	7,350.00	7,350.00
		6,945.00	7,375.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)相談実人数	人	1,150.00	1,200.00	1,250.00	1,250.00	1,250.00	1,250.00	1,250.00
		1,165.00	1,223.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)関係機関連携件数	件	2,550.00	2,600.00	2,650.00	2,650.00	2,650.00	2,650.00	2,650.00
		2,602.00	2,978.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)報告書等作成件数	件	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
		775.00	927.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	法の規定から市が主体となり相談支援を行うことは妥当である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	相談支援の早期開始と、学齢期を通じた継続支援ができている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	増加する相談ニーズに限られた体制で対応している。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	子どもの心身の健全な成長を育むことに寄与している。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	年々増加し、複雑化・多様化する相談ニーズに対し、職員の専門性向上と積極的な関係機関連携はもとより、相談体制の充実（オンラインの活用）や、市民への情報発信（ホームページ、講演会）も行い、工夫して対応している。引き続き幼児期から学齢期まで一貫性と継続性をもった親子への相談支援の充実を図っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	発達に課題のある子どもの養育、保育、教育を支える専門的な相談機関として実績を積み上げている。引き続き多職種がチームとして親子に寄り添い、関係機関とも連携して、効率的で効果的な支援を行う。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1427　こども未来部こども総合支援局こども発達相談センター
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　02392　こども発達相談事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)相談支援のべ件数	件	7,250.00 6,945.00	7,300.00 7,375.00	7,350.00 0.00	7,350.00 0.00	7,350.00 0.00	7,350.00 0.00	7,350.00 0.00
	指標説明	各種相談や関係機関連携等の総数。但し、報告書等作成件数を除く。						
(活動)相談実人数	人	1,150.00 1,165.00	1,200.00 1,223.00	1,250.00 0.00	1,250.00 0.00	1,250.00 0.00	1,250.00 0.00	1,250.00 0.00
	指標説明	相談支援を行った子どもの実人数						
(成果)関係機関連携件数	件	2,550.00 2,602.00	2,600.00 2,978.00	2,650.00 0.00	2,650.00 0.00	2,650.00 0.00	2,650.00 0.00	2,650.00 0.00
	指標説明	学校、園などの関係機関と連絡連携した総数						
(成果)報告書等作成件数	件	1,000.00 775.00	1,000.00 927.00	1,000.00 0.00	1,000.00 0.00	1,000.00 0.00	1,000.00 0.00	1,000.00 0.00
	指標説明	保護者等に対して作成提出した相談結果報告書や意見書、紹介状等の総数						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0139
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　小澤　吉輝
所属　1407　こども未来部こども総合支援局こども・子育て安心課　記入者　立仙　雄介
事務事業番号　00020　子育て短期支援事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001　切れ目のない子育て支援				
取組の方向性	001　妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援				
事務事業	005　子育て短期支援事業				
運営方法	民間委託				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	子育て短期支援事業実施要綱				
事業概要	（事業概要） 児童を養育している家庭において、保護者の疾病や出産、仕事、育児疲れ等の理由によって、家庭での児童の養育が一時的に困難になった場合に乳児院若しくは児童養護施設又は里親において一時的に養育することにより、これらの児童及びその家庭の福祉の向上を図るため、短期入所生活援助（ショートステイ）事業と夜間養護（トワイライトステイ）を実施する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 保護者の疾病や出産、仕事、育児疲れ等の理由により、保護者の養育が一時的に困難になった場合に里親や児童養護施設に預けて一時的に養育することで、児童及び家庭の福祉の向上を図る必要がある。 （見直しや改善等の経過） 令和３年度からは、対象年齢を拡充するとともに、保護者の育児疲れにも対応できるようにしている。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	児童を養育している家庭を対象に
目的（何のために）	家庭での児童の養育が一時的に困難になった場合に
手段（どのようなやり方で）	乳児院、児童養護施設、里親での短期入所生活援助（ショートステイ）事業及び、児童養護施設、里親での夜間養護（トワイライトステイ）事業の実施により、一時的に養育することで
成果（どのような状態にするのか）	児童及びその家庭の福祉の向上を図る。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	4,904	6,286	7,316	8,329	8,329	8,329	8,329
事業費	2,174	3,246	3,716	4,729	4,729	4,729	4,729
国庫支出金	911	1,338	1,238	1,576	1,576	1,576	1,576
県支出金	911	1,039	1,238	1,576	1,576	1,576	1,576
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	352	869	1,240	1,577	1,577	1,577	1,577
人件費計	2,730	3,040	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600
事務・技術（人）	0.35	0.38	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0139
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1407　こども未来部こども総合支援局こども・子育て安心課
事務事業番号　00020　子育て短期支援事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-05-28-00-19-00	子育て短期支援事業費	こども未来部こども総合支援局こども・子育て安心課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)相談件数	件	200.00	220.00	300.00	300.00	300.00	300.00	300.00
		224.00	347.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)利用延日数	日	450.00	480.00	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00
		351.00	493.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)利用延人数	人	180.00	190.00	300.00	300.00	300.00	300.00	300.00
		188.00	298.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	児童の養育が一時的に困難になった場合の支援として妥当			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	児童及びその家庭の福祉が向上している。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	児童の養育を担うことが出来る法人に委託して実施している。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	一時的に養育が困難な家庭を支援することで目標達成につながる。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	令和６年度と比較し定量評価の実績数値は全て目標値を上回っており、子育て支援としての必要性は高く、子どもと保護者の安心につながっていると考えている。事業を実施するにあたっては、子どもや保護者の状況を踏まえて対応するとともに、必要に応じて他の支援にもつなげていく。今後も一時的に養育が困難になった家庭に寄り添いながら、事業の適切な運用を行っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	一時的に子どもの養育が困難になった場合の家庭への支援として必要性が高く、利用者が増加している状況を踏まえ今後も適切に事業を実施していく。事業の実施においては、子どもや家庭の状況に応じた対応に努めていくとともに、委託先の各施設や里親会とも十分に協議をしながら行っていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1407　こども未来部こども総合支援局こども・子育て安心課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00020　子育て短期支援事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)相談件数	件	200.00 224.00	220.00 347.00	300.00 0.00	300.00 0.00	300.00 0.00	300.00 0.00	300.00 0.00
	指標説明	相談件数						
(成果)利用延日数	日	450.00 351.00	480.00 493.00	500.00 0.00	500.00 0.00	500.00 0.00	500.00 0.00	500.00 0.00
	指標説明	事業利用件数（利用延日数）						
(成果)利用延人数	人	180.00 188.00	190.00 298.00	300.00 0.00	300.00 0.00	300.00 0.00	300.00 0.00	300.00 0.00
	指標説明	事業利用件数（利用延人数）						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0140
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　小澤　吉輝
所属　1407　こども未来部こども総合支援局こども・子育て安心課　記入者　板谷　敦子
事務事業番号　00068　家庭児童相談室運営事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	002　子どもを守る仕組みの充実				
取組の方向性	001　子どもの人権を守る				
事務事業	005　家庭児童相談室運営事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	児童福祉法、児童虐待の防止等に関する法律、家庭児童相談室設置運営要綱				
事業概要	（事業概要） 児童に係る家庭での適正な養育や福祉向上のため、家庭児童相談員が面談や訪問、電話等により専門的な相談指導を行う。特に、子どもの心身の成長等に重大な影響を与える児童虐待に対しては、相談対応を行うとともに、福祉や教育、児童相談所、警察、医療など、子どもと家庭に関わる多様な機関で構成される「要保護児童対策地域協議会」の調整機関として各機関と連携し、子どもと家庭及び特定妊婦に対する支援・見守りを行い、児童虐待の早期発見・早期対応及び未然防止を図っていく。また、児童虐待の未然防止の取組として、研修会も開催する。				
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 児童と家庭に関する相談は年々多様化・複雑化している。また、子どもの心身の成長に影響を及ぼす児童虐待の防止は、社会全体で取り組むべき重要な課題である。 （見直しや改善等の経過） 大津市要保護児童対策地域協議会を中心に関係機関の連携や支援体制の充実を図ってきた。また、児童虐待の未然防止のため、校園や地域など、様々な場で子どもと保護者等を対象としたプログラム研修を実施している。 令和７年度にこども家庭支援室を設置し、母子保健と児童福祉が連携強化を図り、妊娠・出産・子育てにおいて支援を要する世帯を早期に把握し、迅速な対応・支援につなげている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	特定妊婦と18歳未満の子どもとその保護者を対象に
目的(何のために)	子どもや家庭への支援及び、児童虐待の早期発見・早期対応、未然防止を図るために
手段(どのようなやり方で)	面接・訪問・電話等での相談・支援及び、要保護児童対策地域協議会におけるケース会議等の実施や関係機関と連携・協働した、子どもと保護者への支援・見守りを実施することで
成果(どのような 状態にするのか)	子どもや家庭への適切な支援と児童虐待の早期発見・早期対応及び未然防止を目指す

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	97,240	129,987	130,613	131,469	131,469	131,469	131,469
事業費	4,190	4,767	5,393	6,249	6,249	6,249	6,249
国庫支出金	1,352	2,105	439	439	439	439	439
県支出金	894	1,158	286	286	286	286	286
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,944	1,504	4,668	5,524	5,524	5,524	5,524
人件費計	93,050	125,220	125,220	125,220	125,220	125,220	125,220
事務・技術（人）	3.95	5.95	5.95	5.95	5.95	5.95	5.95
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	2.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
会計年度任用（人）	12.66	16.30	16.30	16.30	16.30	16.30	16.30
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0140
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1407　こども未来部こども総合支援局こども・子育て安心課
事務事業番号　00068　家庭児童相談室運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-05-16-00-01-00	家庭児童相談室運営事業費	こども未来部こども総合支援局こども・子育て安心課
01-15-10-05-16-00-02-00	会計年度任用職員雇用経費	こども未来部こども総合支援局こども・子育て安心課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)相談件数	件	30,000.00	30,000.00	30,000.00	30,000.00	30,000.00	30,000.00	30,000.00
		28,081.00	32,245.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)要保護児童対策地域協議会、実務者会議等	回	300.00	300.00	300.00	300.00	300.00	300.00	300.00
		211.00	184.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)相談処理件数	件	4,000.00	4,000.00	4,000.00	4,000.00	4,000.00	4,000.00	4,000.00
		3,932.00	4,021.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)児童虐待把握件数	人	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00
		972.00	998.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	児童福祉法に基づき、市が適切に対応する必要がある。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	個別の相談対応や支援、多機関連携により成果につなげている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	子どもや家庭の状況に応じた寄り添った支援につなげられる。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	子どもや家庭に寄り添い支えることで子どもの健全育成につながる			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント（４００文字）	子どもの心身の成長や人格の形成に重大な影響を及ぼす児童虐待の防止は、社会全体で取り組むべき重要な課題である。児童虐待は、様々な要因が複合的に重なっていることも多いことから、子どもと家庭に関わる関係機関が連携・協力し、それぞれが役割を担いながら継続した子どもや家庭への支援、見守りを行っている。令和７年度にはこども家庭支援室を設置してこども家庭センター機能を整備し、児童福祉と母子保健の両機能の連携を強化することを目的として、子どもと家庭への支援を検討する会議や研修会などを開催している。今後も子どもや保護者からの相談に丁寧に対応して、児童虐待の未然防止及び早期発見・早期対応を図るとともに、妊娠・出産・子育てにおいて支援を要する家庭を早期に把握し、迅速な対応・支援につなげていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント（４００文字）	児童虐待への対応については、子どもや家庭に関わる多様な機関が連携し、様々な視点から取り組むとともに、引き続き未然防止及び早期発見・早期対応に努めていく。また、相談対応においては、子どもや家庭の状況を踏まえてそれぞれに寄り添った支援を行い、子どもの心身の健全な育成を目指すとともに、令和７年度から設置したこども家庭センター機能により、母子保健と児童福祉の連携を深め、妊娠、出産、子育てまで、時期を逃さない支援を行い、事業の充実を図っていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1407　こども未来部こども総合支援局こども・子育て安心課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00068　家庭児童相談室運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)相談件数	件	30,000.00 28,081.00	30,000.00 32,245.00	30,000.00 0.00	30,000.00 0.00	30,000.00 0.00	30,000.00 0.00	30,000.00 0.00
	指標説明	面接相談、電話相談、家庭訪問による延べ相談件数						
(活動)要保護児童対策地域協議会、実務者会議等	回	300.00 211.00	300.00 184.00	300.00 0.00	300.00 0.00	300.00 0.00	300.00 0.00	300.00 0.00
	指標説明	児童虐待防止の支援体制づくりの連絡調整会議数とケース会議数						
(成果)相談処理件数	件	4,000.00 3,932.00	4,000.00 4,021.00	4,000.00 0.00	4,000.00 0.00	4,000.00 0.00	4,000.00 0.00	4,000.00 0.00
	指標説明	送致や通告、調査、施設入所措置、斡旋、助言等						
(成果)児童虐待把握件数	人	1,200.00 972.00	1,200.00 998.00	1,200.00 0.00	1,200.00 0.00	1,200.00 0.00	1,200.00 0.00	1,200.00 0.00
	指標説明	相談・通告等による把握児童数						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0141
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　小澤　吉輝
所属　1407　こども未来部こども総合支援局こども・子育て安心課　記入者　麻生いづみ
事務事業番号　03823　子どもの居場所づくり事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	002　子どもを守る仕組みの充実				
取組の方向性	001　子どもの人権を守る				
事務事業	004　子どもの居場所づくり事業				
運営方法	民間委託				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等					
事業概要	（事業概要） 複合的な困難を抱える児童（要支援・要保護児童等）に対して、安心して過ごすことのできる「居場所」を提供し、生活習慣の形成や学習支援、食事の提供等を行う。そのことを通じて、児童及びその家庭環境をアセスメントし、必要な制度・サービスへのつなぎを行う等、個々の状況に応じた包括的な支援を行い、児童虐待の防止、こどもの最善の利益の保障及び健全な育成を図る。				
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 複合的な困難を抱える児童（要支援・要保護児童等）に対して、安心して過ごすことのできる「居場所」の必要性・重要性が高まっている。 （見直しや改善等の経過） 当該事業は、令和３年度に市内２か所で開始した（※それまでの「トワイライト事業」と「（昼間の）子どもの居場所づくり事業」の両事業を統合し一体的に実施）。令和４年度から３か所に拡充、令和５年度から夜の個別活動の追加及び昼夜の集団活動にかかる委託費単価の見直し（増額）、令和７年度にさらに昼夜の集団活動の委託費単価の見直し（増額）を図った。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	小学生から１８歳に達するまでの要支援児童及び要保護児童等を対象に
目的(何のために)	子どもの健全な育成のために
手段(どのようなやり方で)	子どもたちが安心して過ごせる場所を提供し、学習支援や生活支援等を行うことによって
成果(どのような 状態にするのか)	様々な要因により、孤独を感じたり、支援を必要とする子どもの健全な育成を目指す。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	14,047	15,660	19,818	25,996	25,996	25,996	25,996
事業費	11,707	13,020	14,218	20,396	20,396	20,396	20,396
国庫支出金	8,349	9,038	9,478	9,832	9,832	9,832	9,832
県支出金	0	0	0	3,715	3,715	3,715	3,715
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	3,358	3,982	4,740	6,849	6,849	6,849	6,849
人件費計	2,340	2,640	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600
事務・技術（人）	0.30	0.33	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0141
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1407　こども未来部こども総合支援局こども・子育て安心課
事務事業番号　03823　子どもの居場所づくり事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-05-16-00-04-00	子どもの居場所づくり事業	こども未来部こども総合支援局こども・子育て安心課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)相談件数	件	170.00	170.00	170.00	170.00	170.00	170.00	170.00
		171.00	176.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)利用回数	回	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
		840.00	859.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)利用延人数	人	1,600.00	1,600.00	1,600.00	1,600.00	1,600.00	1,600.00	1,600.00
		1,433.00	1,371.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	市が主体となり、適切な事業者へ委託する手段が妥当である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	子どもが自分の思いを話せる場として成果につながっている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	官民協働での実施により子どもの健全な育成につながっている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	安心できる場として子どもの健全な育成に寄与している。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント（４００文字）	当該事業は、子どもたちが自分の思いを表現したり、自分らしく過ごすことができる場所を提供することにより、子どもの健やかな成長にとって非常に大切な場を創出している。令和７年度は、より充実した人員体制で子どもたちに寄り添えるように委託費単価設定の見直し（増額）を図った。令和８年度は、地域バランスの課題を解消するべく、西北部地域に新たに１か所増設することを目指し、今後の事業の充実につなげていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント（４００文字）	子どもの居場所づくり事業は、子どもたちが安心して過ごし、自分の思いを話せたり成長できる場として、大切な取組となっており、引き続き一人一人の子どもに寄り添った支援を推進していく。また、令和８年度からは、新たに１か所増設を予定し、実施体制の充実を図るとともに、委託先の事業者と連携して適正な事業の実施に努めていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1407　こども未来部こども総合支援局こども・子育て安心課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　03823　子どもの居場所づくり事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)相談件数	件	170.00 171.00	170.00 176.00	170.00 0.00	170.00 0.00	170.00 0.00	170.00 0.00	170.00 0.00
	指標説明	相談件数　※利用児童及び新たな利用児童について、本課と事業所が相談（情報共有・利用調整）した件数						
(成果)利用回数	回	1,000.00 840.00	1,000.00 859.00	1,000.00 0.00	1,000.00 0.00	1,000.00 0.00	1,000.00 0.00	1,000.00 0.00
	指標説明	事業利用回数（利用延回数）						
(成果)利用延人数	人	1,600.00 1,433.00	1,600.00 1,371.00	1,600.00 0.00	1,600.00 0.00	1,600.00 0.00	1,600.00 0.00	1,600.00 0.00
	指標説明	事業利用件数（利用延人数）						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0142
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　播磨　剛
所属　1475　こども未来部こども総合支援局母子保健課　記入者　奥野　圭子
事務事業番号　00482　乳幼児健康診査事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001　切れ目のない子育て支援				
取組の方向性	001　妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援				
事務事業	013　乳幼児健康診査事業				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	母子保健法、児童福祉法				
事業概要	（事業概要） 乳幼児の健康状態を把握し、疾病の早期発見・早期治療につなげることを目的に、乳幼児健康診査を１か月、４か月、１０か月、１歳９か月、２歳６か月、３歳６か月の時期に実施している。更に乳児期の育児支援の場として、赤ちゃん相談会を実施している。事後指導として、発達相談、育児相談などを実施し、発達支援療育事業、療育前早期対応親子教室、医師による発達外来等につなぎ、単なるスクリーニングの場としてだけでなく、発達支援や育児支援を行っている。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 疾病の早期発見、発達障害や児童虐待の早期発見と育児支援の相談窓口として、乳幼児健診の果たす役割は大きい。 （見直しや改善等の経過） 令和７年度から新たに個別医療機関委託で１か月児健康診査を開始し、疾病の早期発見に取り組んでいる。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	乳幼児とその保護者に
目的(何のために)	乳幼児の疾病や発達障害及び養育困難（育てにくさや育児力の課題）の早期発見と育児支援のために
手段(どのようなやり方で)	１か月児及び４か月児健康診査は個別医療機関委託、その他は直営集団方式で実施している。健康診査の結果、発達支援が必要な場合は、すこやか相談所等と連携し、迅速に支援を開始することで
成果(どのような状態にするのか)	すべての子どもの健やかな発達を保障し、また保護者の育児不安、養育困難の軽減を図り虐待予防に寄与する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	156,280	187,862	219,885	234,218	234,218	234,218	234,218
事業費	27,998	41,299	49,614	63,947	63,947	63,947	63,947
国庫支出金	1,968	8,698	10,765	13,307	13,307	13,307	13,307
県支出金	402	0	853	2,844	2,844	2,844	2,844
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	5	122	300	0	0	0	0
一般財源	25,623	32,479	37,696	47,796	47,796	47,796	47,796
人件費計	128,282	146,563	170,271	170,271	170,271	170,271	170,271
事務・技術（人）	9.99	9.50	12.81	12.81	12.81	12.81	12.81
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
会計年度任用（人）	12.59	15.97	15.34	15.34	15.34	15.34	15.34
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0142
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1475　こども未来部こども総合支援局母子保健課
事務事業番号　00482　乳幼児健康診査事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-70-15-00-01-00	乳幼児健診事業費	こども未来部こども総合支援局母子保健課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)受診者数	人	12,542.00	12,613.00	12,396.00	12,164.00	11,951.00	11,951.00	11,951.00
		11,763.00	11,570.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)受診率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		96.00	96.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	児の心身の発達や保護者の育児支援を多角的に分析し評価している			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	受診率は昨年度より上昇している			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	時期に応じて個別健診と集団健診を組み合わせて行っている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	乳幼児の疾病等に対する早期の発見や対応の手立てとなっている			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント（４００文字）	乳幼児健康診査は、疾病等に対する早期の発見や対応の手立てと保護者の育児支援の相談のきっかけとなっており、令和７年度からは１か月児健康診査を新たに実施した。令和８年度は令和９年度からの実施に向けた５歳児健康診査のモデル事業である５歳相談会に取り組む。乳幼児健康診査の重要性について啓発を行うとともに、未受診者に対する個別の対応を行うことにより、受診率の向上を図る。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント（４００文字）	乳幼児健康診査の実施により、乳幼児の疾病や養育困難の早期発見につながっている。さらなる受診率の向上を目指し、市民への周知啓発を行うとともに、家庭状況をよりきめ細かく把握し対応するため、問診の項目を追加するなど、今後も引き続き健康診査の質の向上に努めていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1475　こども未来部こども総合支援局母子保健課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00482　乳幼児健康診査事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)受診者数	人	12,542.00 11,763.00	12,613.00 11,570.00	12,396.00 0.00	12,164.00 0.00	11,951.00 0.00	11,951.00 0.00	11,951.00 0.00
	指標説明	各健診の受診者の総数(4か月児から3歳6か月児)						
(成果)受診率	%	100.00 96.00	100.00 96.60	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	受診者数／対象者数(4か月児から3歳6か月児)						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0143
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　播磨　剛
所属　1475　こども未来部こども総合支援局母子保健課　記入者　佐野　実生
事務事業番号　00483　妊婦等包括相談支援事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001　切れ目のない子育て支援				
取組の方向性	001　妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援				
事務事業	014　妊婦等包括相談支援事業				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	母子保健法、児童福祉法、子ども・子育て支援法				
事業概要	（事業概要） 妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援ができるよう、伴走型相談支援において、妊娠初期、妊娠後期、出産後（新生児訪問）の面談やマタニティサロン、パパママ教室、産後ケア事業等、産前産後を通じて、妊産婦に寄り添った事業を実施している。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 核家族化、妊婦の就労割合の増加、地域とのつながりの希薄化により、出産・子育てに関する相談の機会が少なく、育児不安を抱える保護者が増加傾向である。 （見直しや改善等の経過） 妊婦等包括相談支援事業では、妊娠期から寄り添った相談支援を行っている。出産後の保護者のライフスタイルを考える『対話型パパママ教室』を令和６年度から開始し、妊娠期から出産後の育児の見通しをもつことで、育児不安の軽減及び産後うつの予防を目指す。また、令和７年度から県内市町の集合契約となり、産後ケア事業の利用料の減免支援を行ったことから、利用しやすい環境整備を図っている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	妊産婦及びそのパートナー、子どもとその保護者が
目的(何のために)	健やかな妊娠・出産・育児ができ、子どもが健やかに育つため
手段(どのようなやり方で)	妊娠期から出産、育児支援において情報提供や相談支援を実施する妊婦等包括相談支援事業や産後ケア事業等を実施することで
成果(どのような状態にするのか)	心身の健康の保持ができ、安心して妊娠・出産・育児をすることができる

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	47,374	127,195	126,058	136,288	136,288	136,288	136,288
事業費	11,966	24,957	18,338	28,568	28,568	28,568	28,568
国庫支出金	1,231	10,164	7,603	12,581	12,581	12,581	12,581
県支出金	752	4,866	3,924	6,684	6,684	6,684	6,684
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	9,983	9,927	6,811	9,303	9,303	9,303	9,303
人件費計	35,408	102,238	107,720	107,720	107,720	107,720	107,720
事務・技術（人）	2.76	5.46	5.33	5.33	5.33	5.33	5.33
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.70	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
会計年度任用（人）	3.47	12.37	13.45	13.45	13.45	13.45	13.45
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0143
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1475　こども未来部こども総合支援局母子保健課
事務事業番号　00483　妊婦等包括相談支援事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-70-20-00-01-00	妊婦等包括相談支援事業費	こども未来部こども総合支援局母子保健課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)マタニティサロン母親学級　実施回数	回	13.00 13.00	11.00 13.00	11.00 0.00	11.00 0.00	11.00 0.00	11.00 0.00	11.00 0.00
(活動)初めてのパパママ教室の実施回数	回	18.00 18.00	18.00 18.00	18.00 0.00	18.00 0.00	18.00 0.00	18.00 0.00	18.00 0.00
(成果)「この地域で今後も子育てしていきたい」人の割合	回	0.00 0.00	0.00 0.00	98.00 0.00	98.00 0.00	98.00 0.00	98.00 0.00	98.00 0.00
(成果)訪問実施率	回	0.00 0.00	0.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	母子保健法、児童福祉法に基づき実施しているため妥当である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	基準値の97.9%から増加しており成果が上がっている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	地域担当助産師が身近な場で妊娠期から支援しており効率的である			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	妊娠期から育児期まで切れ目ない支援ができている。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	伴走型相談支援において、マタニティサロン、パパママ教室などを通じた妊娠期からの寄り添った支援によって、出産後も安心して相談できる関係性を築くことで継続した関わりができており、今後も新生児訪問や産後ケア事業なども含めた妊娠期からの切れ目のない支援を行う。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	妊娠期からの出産、育児支援において、保健師・助産師による伴走型相談支援事業や産後ケア事業を実施することで、保護者の心身の健康の保持ができ、安心して妊娠・出産・育児をすることができるよう、育児不安の軽減、産後うつの予防に努めていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1475　こども未来部こども総合支援局母子保健課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00483　妊婦等包括相談支援事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)マタニティサロン母親学級　実施回数	回	13.00 13.00	11.00 13.00	11.00 0.00	11.00 0.00	11.00 0.00	11.00 0.00	11.00 0.00
	指標説明	実施回数						
(活動)初めてのパパママ教室の実施回数	回	18.00 18.00	18.00 18.00	18.00 0.00	18.00 0.00	18.00 0.00	18.00 0.00	18.00 0.00
	指標説明	実施回数						
(成果)「この地域で今後も子育てしていきたい」人の割合	回	0.00 0.00	0.00 0.00	98.00 0.00	98.00 0.00	98.00 0.00	98.00 0.00	98.00 0.00
	指標説明	４か月児健診で「この地域で今後も子育てしていきたい」と回答した人の割合 令和７年度より、予算事業を組み替えたため成果指標を追加						
(成果)訪問実施率	回	0.00 0.00	0.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	新生児訪問を含む、大津っ子みんなで育て愛全戸訪問事業の実施率 令和７年度より、予算事業を組み替えたため成果指標を追加						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0144
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　播磨　剛
所属　1475　こども未来部こども総合支援局母子保健課　記入者　東　美佑
事務事業番号　01887　妊婦健診事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001　切れ目のない子育て支援				
取組の方向性	001　妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援				
事務事業	016　妊婦健診事業				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	母子保健法				
事業概要	（事業概要） 妊産婦と胎児の健康管理の充実と経済的負担の軽減を図るため、妊産婦に対する保健指導及び健康診査に対する公費負担を実施している。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） より安心して妊娠・出産ができる環境整備が必要であるため、妊産婦の経済的負担の軽減とすべての方が必要な健康診査を必要な回数受けられるような体制となるよう事業を進めている。 （見直しや改善等の経過） 妊産婦健康診査における経済的負担の軽減のため、令和６年度から妊婦健康診査費用の無料化と産婦健康診査の受診券２枚の補助を開始した。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	妊産婦が
目的(何のために)	母体や胎児の健康保持のため
手段(どのようなやり方で)	母子健康手帳交付、妊産婦健康診査受診券交付、妊婦相談を行うことにより
成果(どのような状態にするのか)	全ての妊婦が安全な妊娠と出産ができる。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	296,259	329,589	350,384	359,003	359,003	359,003	359,003
事業費	252,761	284,532	300,445	309,064	309,064	309,064	309,064
国庫支出金	11,004	12,150	11,970	12,162	12,162	12,162	12,162
県支出金	24,837	34,926	26,240	3,845	3,845	3,845	3,845
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	216,920	237,456	262,235	293,057	293,057	293,057	293,057
人件費計	43,498	45,057	49,939	49,939	49,939	49,939	49,939
事務・技術（人）	2.91	2.69	3.45	3.45	3.45	3.45	3.45
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.35	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
会計年度任用（人）	5.20	4.88	5.01	5.01	5.01	5.01	5.01
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0144
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1475　こども未来部こども総合支援局母子保健課
事務事業番号　01887　妊婦健診事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-70-20-00-10-00	妊産婦健診事業費	こども未来部こども総合支援局母子保健課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)母子健康手帳、受診券交付者数	人	2,400.00 2,360.00	2,435.00 2,346.00	2,304.00 0.00	2,277.00 0.00	2,251.00 0.00	2,251.00 0.00	2,251.00 0.00
(成果)妊娠初期での母子健康手帳交付割合	%	100.00 97.12	100.00 97.44	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
（成果）妊婦健康診査受診券利用率	%	90.00 79.24	90.00 82.48	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	母子保健法に基づく事業であり、市で実施することが妥当である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	妊娠初期での交付増加により妊婦健診の受診につながっている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	県内市町の集合契約により委託実施しており効率的である			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	妊産婦と胎児の健康管理の充実と経済的負担の軽減が図れている			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント （４００文字）	妊娠初期での母子健康手帳の交付割合は前年度より増加しており、早期から妊婦健康診査を受診することで、適切な健康管理ができている。引き続き、妊娠期の不安の軽減、安全な出産の実現のため、伴走型相談支援の中で、妊婦健康診査の適切な受診の周知や費用の公費負担による経済的支援を継続していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント （４００文字）	妊産婦健康診査の公費負担の拡充により、利用者の経済的負担の軽減を図り、受診を促進してきた。引き続き、安心して妊娠、出産できる環境の整備に努めていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1475　こども未来部こども総合支援局母子保健課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　01887　妊婦健診事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)母子健康手帳、受診券交付者数	人	2,400.00 2,360.00	2,435.00 2,346.00	2,304.00 0.00	2,277.00 0.00	2,251.00 0.00	2,251.00 0.00	2,251.00 0.00
	指標説明	母子健康手帳、受診券交付者数						
(成果)妊娠初期での母子健康手帳交付割合	%	100.00 97.12	100.00 97.44	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	妊娠初期（妊娠１１週以下）に母子健康手帳を交付した者の割合 R6 2,292人　R7 2,286人						
（成果）妊婦健康診査受診券利用率	%	90.00 79.24	90.00 82.48	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	妊婦健康診査受診券利用率：令和６年度から開始した妊婦健康診査無償化の手続き上、年度末に把握できないため成果指標を削除する。						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0145
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　播磨　剛
所属　1475　こども未来部こども総合支援局母子保健課　記入者　東　美佑
事務事業番号　04310　母子保健推進事業

【基本情報】

総合計画	04	大津市総合計画　第3期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします			
施策	001	切れ目のない子育て支援			
取組の方向性	001	妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援			
事務事業	068	母子保健推進事業			
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分			
根拠法令等	母子保健法、成育基本法、児童福祉法				
事業概要	育児相談や離乳食などの食に関する事業、多胎児家庭育児支援事業（ホームヘルパー派遣）、各種子育て教室の開催に取り組んでいる。また、プレコンセプションケアについては、啓発や相談事業、支援者向け研修など、妊娠出産を含めた健康づくりを推進する事業を行っている。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	地域とのつながりの希薄化や核家族化、また情報をＳＮＳに過度に頼ることで、適切な育児情報の選択が難しくなることにより育児不安を抱える市民に対して、妊娠出産、子育て期を通し、対面やオンラインなどの様々な手法で相談できる環境を整備している。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	思春期の若者、妊娠出産を考える成人層、子どもとその保護者が
目的(何のために)	妊娠出産を含めた健康づくりを推進でき、安心した子育てを行うことができるため、
手段(どのようなやり方で)	プレコンセプションケアの啓発、各種子育て教室の開催、多胎児家庭育児支援事業を行うことで
成果(どのような状態にするのか)	心身の健康を保ち、安心して育児をすることができる。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	0	16,988	17,069	17,539	17,539	17,539	17,539
事業費	0	3,092	3,529	3,999	3,999	3,999	3,999
国庫支出金	0	988	1,121	1,614	1,614	1,614	1,614
県支出金	0	791	943	1,033	1,033	1,033	1,033
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	100	0	0	0	0	0
一般財源	0	1,213	1,465	1,352	1,352	1,352	1,352
人件費計	0	13,896	13,540	13,540	13,540	13,540	13,540
事務・技術（人）	0.00	0.88	0.72	0.72	0.72	0.72	0.72
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
会計年度任用（人）	0.00	1.29	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0145
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1475　こども未来部こども総合支援局母子保健課
事務事業番号　04310　母子保健推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-70-20-00-18-00	母子保健推進事業費	こども未来部こども総合支援局母子保健課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
（活動）多胎児家庭育児支援事業申請率	%	0.00	0.00	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（成果）多胎児家庭育児支援事業申請者利用率	%	50.00	50.00	33.00	33.00	33.00	33.00	33.00
		34.65	29.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（活動）離乳食教室（前期）定員に対する参加率	%	0.00	0.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	幅広い年代の市民を対象としており妥当			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	希望された方に必要な支援を行っている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	オンライン相談の活用など、利用しやすい体制を図っている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	若い世代から子育て期の市民に対し幅広く啓発できている。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	食育関連事業、多胎児家庭育児支援事業など子育て支援の事業に関しては、育児の不安や負担の軽減となっていることから、事業を利用しやすいよう工夫しながら今後も継続していく。また、プレコンセプションケアについては、市内小学６年生への冊子配布や個別相談・健康教育の継続に加え、支援者向けの研修を行い、性と妊娠・出産に関する正しい知識を含めた健康づくりの支援を行う。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	多胎児家庭育児支援事業については、必要な家庭に支援が届けられるよう継続的に実施していく。また、母子保健事業の中で、あらゆる機会において、プレコンセプションケアの啓発を行い、幅広い普及を推進していく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1475　こども未来部こども総合支援局母子保健課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　04310　母子保健推進事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
（活動）多胎児家庭育児支援事業申請率	%	0.00 0.00	0.00 0.00	70.00 0.00	70.00 0.00	70.00 0.00	70.00 0.00	70.00 0.00
	指標説明	１年間の申請件数／当該年度に案内を行っている対象者数 令和７年度より、予算事業を組み替えたため活動指標を追加						
（成果）多胎児家庭育児支援事業申請者利用率	%	50.00 34.65	50.00 29.25	33.00 0.00	33.00 0.00	33.00 0.00	33.00 0.00	33.00 0.00
	指標説明	訪問実家庭組数/申請家庭組数　３１／１０６						
（活動）離乳食教室（前期）定員に対する参加率	%	0.00 0.00	0.00 0.00	60.00 0.00	60.00 0.00	60.00 0.00	60.00 0.00	60.00 0.00
	指標説明	離乳食教室前期教室参加組数／前期定員組数 令和７年度より、予算事業を組み替えたため活動指標を追加						